

題材名・単元名	学部	授業名(主たる教科領域)	授業者
うみのおんがく	小	全体おんがく 高学年 (音楽)	川合健史
<p><ねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の歌いかけを快く感じながら、(歌ったり)身体表現したりする。 ・いろいろな楽器に親しみ、リズムを感じとって演奏したり、自由に演奏したりする。 ・音楽を楽しく聴いたり、音楽の雰囲気を感じとったりし、感じたことを自分なりに表現する。 			
学習内容	学習活動	指導上の留意点・準備物	
1. はじまりの歌 「♪たのしい おんがく」 2. 鑑賞 「♪うみ」 3. 歌・身体表現 ①「♪ちいさいうみ おおきいうみ」 ②「♪アンダー・ ザ・シー」 4. 楽器 「♪幸せなら 手をたたこう」 5. おわりの歌 「♪おしまいのうた」	<ul style="list-style-type: none"> ・CDを聴いたり、歌詞に合わせた簡単な身振りに取り組んだりする。 ・「うみ」を聴きながら、海の様子が映った動画を観る。 ・歌の終わりに、教師が揺らす波に見立てた布がはためく様子を見ながら、教師のオーシャンドラムの演奏を聴く。 ①小さい波や大きい波をイメージしながら、波に見立てたテープを振る。 ②魚・たこ・いるか・かにの動きの見本を見て、それぞれの動きを自由に表現する。 ・クラス毎に、手作りパーランクー、ペットボトル製ウッドブロック、竹に分かれ、「パンパン」のリズムに合わせて、楽器を演奏する。 ・授業の終わりを意識する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型テレビで海の映像を見せたり、オーシャンドラムの音を聴かせたりして、海のイメージにつなげる。 ・教師が魚、たこなどをホワイトボードに貼り、歌のイメージにつなげる。 ・見本の動きの時に、1つの動きだけではなく、いろいろな動きを提示して、自由に表現する雰囲気を作る。 ・はじめに、手拍子で練習することで、「パンパン」のリズムに慣れさせる。 ・終了後の手洗いや水分補給を伝える。 	
<p><内容(工夫点など)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・海のイメージを持ってもらうため、鑑賞をはじめに行った。 ・「♪アンダー・ザ・シー」では、いるかはフープをジャンプしたり、かには岩の間を横歩きで通ったりする活動を入れることで、児童がイメージしやすいように工夫した。 ・楽器は、消毒ができる物を使ったり、手作りしたりするなど工夫して取り組んだ。 <p><良かった点・改善点(児童生徒の反応を含め)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型テレビを使っての鑑賞は、注目して観ることができた。 ・魚やたこはイメージがしやすかったのか、身体表現につなげられた児童が多かった。 ・基本はCDでよかったが、児童の動きとタイミングを合わせる曲はピアノの方がよい。 			

